

令和3年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立 西寝屋川 高等学校
校長名	清水 智

開催日時	令和 4 年 2 月 15 日(火)
開催場所	感染症拡大防止のため書面開催
出席者(委員)	各委員による文書、メール
出席者(学校)	清水智校長、池田弘教頭
傍聴者	
協議資料	令和3年度進路状況、令和3年度学校教育自己診断、 令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)、 令和4年度学校経営計画及び学校評価(案)
備考	

議題等(次第順)	
① 令和3年度進路状況について ② 令和3年度学校教育自己診断について ③ 「令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)」、「令和4年度学校経営計画及び学校評価(案)」について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
・「令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)」、「令和4年度学校経営計画及び学校評価(案)」について 学校運営協議会委員より承認を受ける。 書面により寄せられた意見 ○授業、学習指導について ・生徒の授業アンケートの結果が前年度を上回る肯定的な意見が増加している。コロナ禍にあっても、各教員の努力により授業改善が進んでいる。 ・生徒たちの学習する姿が年々と良くなっている。授業参観では先生方の頑張っている姿も見ることができ、良かった。 ○進路指導について ・進路指導において、「就職率100%」だけでよいのか。進路の環境変化や生徒・保護者の意向の変化、多様化を考えると「就職率100%」以外の目標も掲げるべき。 ・進学についての具体的な目標、「多様な進路希望実現への助力」、「進路について考えるための助力目標」も明示すべきと考える。 ○行事、部活動等について ・学校の良さをもっとアピールすべき。文化部も地域や小中学校と交流の可能性はある。 ・地域の方にも行事、学校の取組みや生徒たちの頑張りを参観できるようにするとよい。 ○その他 ・西寝屋川高校の最重点課題は「アルバイト問題」と考える。アルバイトのプラス面に着目し、マイナス面のコントロールとすべきでは。 ・授業の開始、終了時の挨拶を「規律、規範の意識の醸成」、「授業への集中」、「コミュニケーションのきっかけ」と関連づいた「西寝屋川授業スタイル」とし、「挨拶」ができる生徒の育成としてはどうか。 ・時間外勤務の削減は業務を特定し、取り組み方まで明示してはどうか。 ・アンケートの数字を追うことも重要であるが、数字のみにとらわれないようにすることも大事。 ・学力も大事だが、人間力を高め大きな社会変動にも負けない人材の育成が望まれる。	

次回の会議日程	
日時	令和 4年 6 月を予定
会場	府立西寝屋川高等学校1階校長室